

子どもの様子

- 友だちの良さを認められる子が多い。
- 自分の役割に責任をもって取り組む。
- 学年を超えた温かな交流をする。
- 地域の活動に積極的に参加する子が多い。
- 自己表現が苦手な子がいる。
- 人と出会う様々な経験が少ない。

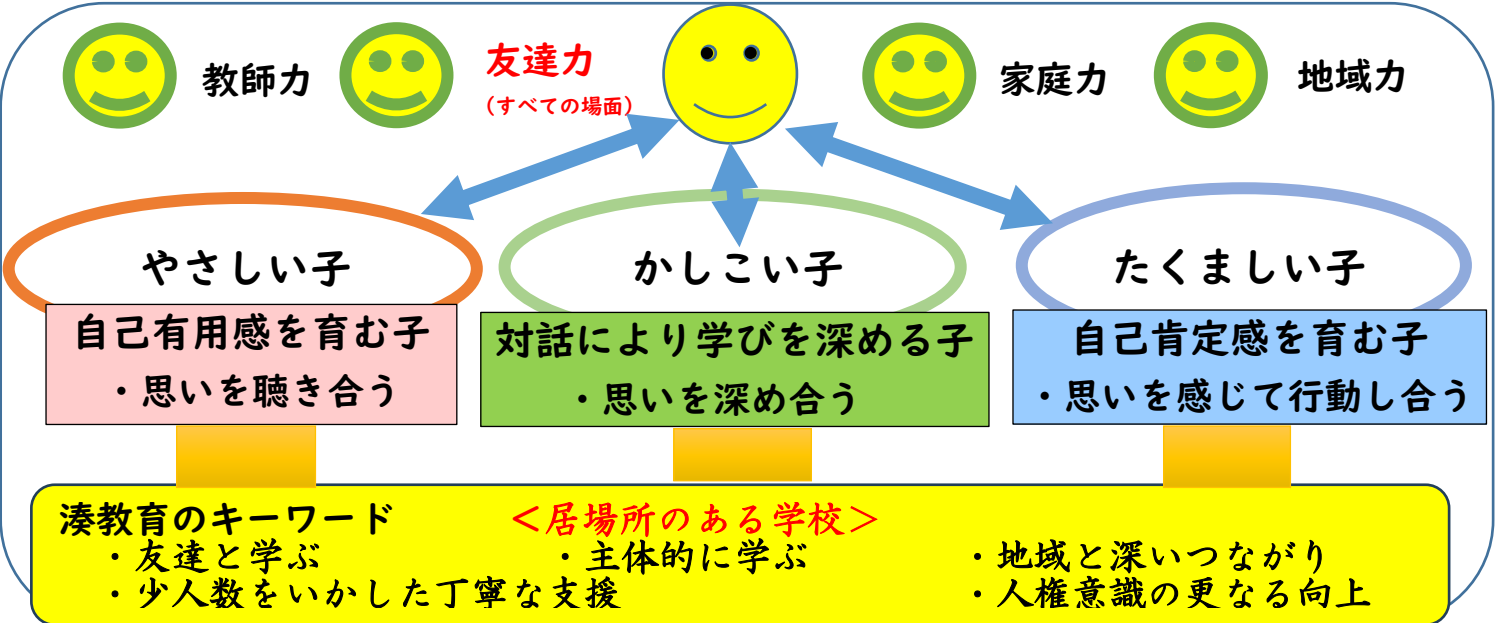
目指す学校像

④んな ④かよし ④もだち
湊小学校

目指す子ども像

『聴き合い、深め合い、思いを感じて行動し合う』湊の子

学校教育目標：やさしい子 かしこい子 たくましい子



具体的な方策

【ウェルビーイング実践校 TOCO-TON】

○子どもの「やりたい」を学びに

○積極的な連携・交流活動

○おかやのまちじゅう学園化構想

○思いやりを育む異学年交流

- ・縦割り活動, 児童会企画, 湖の子集会 連学年交流(支援), 聴く力の育成 わかたけ学級との交流,
- 心をつなぐあいさつ
- ・学級指導, 児童会企画, おはよう日
- 自分の居場所がある
- ・目標をもつ, 係や委員会等での役割
- 様々な立場を認め合う教育活動
- ・幼保小中高(岡谷市内含)との交流連携, 道徳教育, 思い合い月間, 福祉授業

○探究的に学ぶ

- ・ふるさと学習(岡谷スタンダードカリキュラム活用), 話す・聴く・考える活用する力の育成
- 主体的に学ぶ
- ・問いがあり, 対話が生まれる子ども主体の授業づくり, 授業のユニバーサルデザイン化, わからないと言える学級
- 自律して学ぶ
- ・自分の課題をもった自主学習の推進
- ・タブレットの活用, チャレンジタイム

○豊かな心の育成

- ・読書活動, リコーダー演奏
- 人間関係力の育成
- ・温かな学級づくり, SST(ソーシャルスキルトレーニング)の活用, ネットモラル, 伝えて行動する力の育成, 諸外国の生活や文化などの学習活動
- 心身の健康維持
- ・体力づくり(全校集会, マラソン等) 外遊びの励行(学級, 異学年交流等) 体力アップ, なかよしアンケート

★教師力の向上 ・特別支援教育についての理解を深める研修 ・授業改善に向けての研修 ・ICT研修, 交換授業, 相互授業参観 ・自己理解(QUアクセス), SST, 自己肯定感を高める言葉がけ, 学級づくりについての研修 など

合言葉

湊 心一つ

★家庭力

- ・あいさつの日常化, おはよう日における安全指導
- ・家族内の対話UP, 自己肯定感を高める言葉がけ 「ありがとう たすかったよ うれしいな」
- ・学校と連携した家庭学習(学習の手引きの活用)
- ・早寝, 早起き, 朝ごはん推進, 日々の健康管理
- ・家庭読書, ICT活用の推進

★地域力

- ・あいさつ運動と安全指導(おはよう日)
- ・ボランティア, 地域の人材, 関係団体
- ・地域での異学年交流の推進(あそぼう日)
- ・大人との対話, 子ども主体の地域行事
- ・湊コミュニティスクール
- ・H18豪雨災害の記憶 ・『春四之柱』に誇りを

<学級目標> (令和8年度)

1年生：ともだちいっぱい やるきいっぱい げんきいっぱいの1年生

2年生：やさしくてカッコいい2年生！ ☆いのちを大切に ☆じかんも大切に ☆1年生のお手本に

3年生：自分から！最後まで！7人でつくるセブンスター～やさしく・かしこく・たくましく

4年生：ていがかん年の見本 りそを叶える やさしい心 きもちを伝える

5年生：集中・全力・思いやり みんなでつくる楽しい最高のクラス

6年生：友(とも)と協力し乗り越える 文句(もんく)なしの6年生

楽(たの)しい思い出をいっぱいつくる 挑戦(ちょうせん)し続ける

わかたけ：わいわい楽しい くじけず前へ わからないを大切に ぐ(<)んぐん成長

第4次長野県教育振興基本計画

目指す姿：「個人と社会のウェルビーイングの実現」

～ 一人ひとりの「好き」や「楽しい」、「なぜ」をとことん追求できる「探究県」長野の学び～

政策の柱：「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

- 1 一人ひとりが主体的に学び他者と協働する学校をつくる
- 2 一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境をつくる
- 3 生涯にわたり誰もが学び合える地域の拠点をつくる

岡谷市子育て憲章

(岡谷市のめざす子ども像) 平成14年4月1日

- ・明るく、元気で、健やかな子ども
- ・命を大切にし、感謝の心と思いやりのある子ども
- ・自ら求め、ねばり強くやり抜く子ども
- ・行動に責任をもち、ひとり立ちのできる子ども
- ・力を合わせて人のために尽くし、郷土を愛する子ども

第3期 岡谷市教育大綱 (2024-2028)

「教育の理念」【自立し、共生し、創造性溢れる『岡谷のひと』づくり】

～『笑顔と感動が溢れる学校に・居場所だらけの学校に』(宮坂教育長より)～

(教育の分野別スローガン)

学校教育： 生き抜く力と創造力、知的好奇心溢れる 心豊かなひとづくり

1) 未来を切り拓く確かな学力と成長の保障

ex:授業よくわかる 90%(学校評価 設問4:96.4%)、家で自主学習 70%(6:85.6%)、読書好き 90%(97%)

2) 「ふるさと学習」の推進と地域に開かれた学校作り

ex:進んであいさつ 90%(8:97.6%)、地域行事参加 70%(3:98.8%)

3) 自立と共生のインクルーシブ教育の充実

ex:学校楽しい 90%(1:95.2%)、自分によいところあり 90% (5:95.2%)

4) 多様性を包み込む、魅力と活力ある学校づくり

ex:朝食 100% (93.8%)、外遊びや運動(7:83.3%)

5) 笑顔で安心して学べる教育環境の整備

ex:人が困っている時進んで助ける 95%(10:100%) <重点目標5項目と目標指標 KPI 参照>

生涯教育： 歴史と文化を礎に、自ら学び続け、地域で輝くひとづくり

1) 生涯を通じた学びの推進 2) 過程・地域の教育力向上 3) 青少年の健全育成

4) 読書の推進 5) 美術考古館の活用 6) 文化財の保護・活用 7) 歴史の伝承

スポーツ： 親しみ、挑戦し続ける、たくましい心と体のひとづくり

1) 市民ひとり1スポーツの実現 2) 競技力の向上

3) 子どものスポーツ機会の充実 4) スポーツ環境の整備・充実

5) 第82回国民スポーツ大会・第27回全国障がい者スポーツ大会の推進